

## 設立趣旨書

### 1. 趣旨・申請に至るまでの経過

将来の日本を支えていく子供たちの教育に携わって約30年経ちました。その中で塾の講師や中学校の非常勤講師などをした経験から、さらに地域の教育について真剣に向き合うことを決意し、独立して「ながの塾」を立ち上げ、7年が経ちました。そんな中、2020年の新型コロナウイルス感染症の流行・感染により、人々の生活は一変し、社会の形が大きく変化していきました。感染症対策としてソーシャル・ディスタンスが奨励され、人間の人格形成において最も大事な時期である小中高生から、友達どうしの関係づくりや成長の機会をうばい、子どもの体と心に影を落としました。その結果、自殺者や不登校さらには引きこもりをする生徒の数は増え、大きな社会問題となっています。

子どもたちは現在の社会の写し絵だと言われます。これまでの価値観で改めるべきところは改め、長期的な視野で子どもたちが希望をもって進んでいける社会にしていく必要があると考えます。子どもたちの成長には、家族、教育関係者、さらに地域の方々など、いろいろな世代の交流が必要であり、大きな可能性が秘められています。

まずは、学校に行けない子どものフリースクール（居場所）をつくり、その子どもたち、そのご家族の方たちのケア、そして自立した大人として社会で生きていくためのサポートをしていきます。このような活動を続けるためには今後、学校はもちろん、自治体や地域団体などとも密に連携していく必要があり、責任の所在が明確にある公的な法人組織になる必要があると考えた次第です。

特定非営利活動法人化以降は、組織や制度の「縦割り」をこえて、自治体や地域団体などのみなさんで力をあわせ、学校に行ってない子どもたちに対して、教育・研修を行い、いろいろな世代の方々と情報交換できる「のんびりと集まるフリースクール（居場所）」での地域共生による子供の健全育成を目指し、NPO法人ケアフリーを設立いたします。

令和7年10月21日

NPO法人ケアフリー  
設立代表者 長野公宣